

所属名	事務事業名	ページ番号
スポーツ振興課	サガントス交流宣言事業	2
スポーツ振興課	佐賀バルナーズ連携事業	3
スポーツ振興課	プロスポーツ連携事業	4
スポーツ振興課	スポーツ少年団育成事業	5
スポーツ振興課	スポーツきっかけづくり推進事業	6
スポーツ振興課	スポーツ推進委員協議会活動推進事業	7
スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブ支援事業	8
スポーツ振興課	さが桜マラソン大会開催事業	9
スポーツ振興課	各種スポーツ大会開催補助事業	10
スポーツ振興課	公益財団法人佐賀市体育協会との連携事業	11
スポーツ振興課	市民体育大会開催事業	12
スポーツ振興課	校区対抗駅伝大会開催事業	13
スポーツ振興課	県民スポーツ大会関連負担金	14
スポーツ振興課	スポーツ合宿推進事業	15
スポーツ振興課	スポーツ指導者育成事業	16
スポーツ振興課	各種大会出場助成事業	17
スポーツ振興課	東京2020オリンピック・パラリンピック選手応援・支援事業	18
スポーツ振興課	東京2020オリンピック聖火リレー運営事業	19
スポーツ振興課	佐賀市民運動広場運営事業	20
スポーツ振興課	佐賀市立体育館・テニスコート運営事業	21
スポーツ振興課	市立野球場・弓道場管理運営事業	22
スポーツ振興課	嘉瀬川河川敷グラウンドの管理運営	23
スポーツ振興課	佐賀勤労者体育センター運営事業	24
スポーツ振興課	学校体育施設開放事業	25
スポーツ振興課	西神野運動広場運営事業	26
スポーツ振興課	春日運動広場管理運営事業	27
スポーツ振興課	富士運動広場管理運営事業	28
スポーツ振興課	三瀬グラウンド管理運営事業	29
スポーツ振興課	三瀬勤労福祉センター管理運営事業	30
スポーツ振興課	三瀬プール管理運営事業	31
スポーツ振興課	東与賀運動公園体育施設管理運営事業	32
スポーツ振興課	久保田グラウンド・補助グラウンド管理運営事業	33
スポーツ振興課	諸富文化体育館・諸富公園体育施設管理運営事業	34
スポーツ振興課	大和勤労者体育センター・大和中央公園体育施設管理運営事業	35
スポーツ振興課	スポーツパーク川副・川副運動広場管理運営事業	36
スポーツ振興課	佐賀市健康運動センター管理運営事業	37
スポーツ振興課	富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設整備事業	38

令和4年度 事務事業進捗報告シート

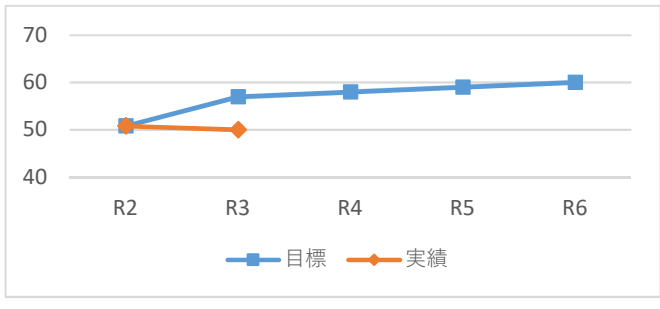
事務事業名	サガントス交流宣言事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

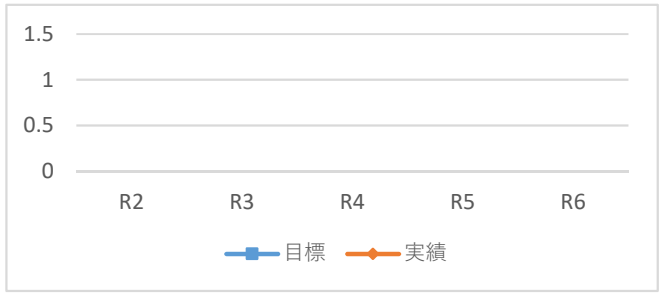
事業概要・目的	まちづくりの一環としてプロスポーツを通じた青少年の人材育成、スポーツ振興等を図ることを目的にサガン鳥栖と締結した交流宣言に基づき、両者の広報媒体を活用した広報協力をを行い、サガン鳥栖の活動を通してスポーツへの関心を喚起するとともに市民のスポーツ実施率を向上させる。				
事業の対象者	市民、サガン鳥栖を応援する市民等				
令和3年度 主な活動実績	マッチスポンサーの実施 1 回（7/24）、地域担当選手 2 名の配置、アウェイ戦パブリックビューイングの実施 3 回、巡回サッカー教室の実施 5 回、サガン鳥栖「夢」先生の実施 3 回、サガン鳥栖版佐賀弁ラジオ体操の作成、ブラインドサッカー体験イベントの開催（3/21）、サガン鳥栖ユース環境整備等へ補助（荷物運搬車両購入、駐輪場整備）、サガン鳥栖ホームゲームの試合結果の広報 18回				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,671	26,403			
うち佐賀市の負担額	4,671	4,552			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
日常的に運動・スポーツを行う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	57 50	58	59	60		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染拡大等のため、イベントへの集客や地域担当選手の活動に制限が生じるなどの影響を受けた。



成果目標達成に向けた対応策等
マッチスポンサーやサッカー教室、夢先生などで、子どもたちが選手やコーチ等と直接触れ合うことで、運動・スポーツの楽しさを感じる機会創出を続けるとともに、地域担当選手を積極的に活用して、運動・スポーツを行うきっかけとなるような発信を行っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀バルナーズ連携事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市をホームタウンとして活動するプロバスケットボールチーム「佐賀バルナーズ」と締結した連携協定に基づき、B2リーグ戦ホームゲームへの集客支援策を講じて、市民がスポーツ観戦を楽しむ機会を創出するとともに、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。				
事業の対象者	市民、佐賀バルナーズを応援する市民等				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズB&Dチャレンジプロジェクト：バスケットボール教室 8校（園） ダンス教室：実施校 2校（園） ・子育てママのスポーツ教室の開催 20回 ・中学生対象バスケットボールクリニックの開催 15回 ・ホームゲームでの職業体験イベント開催 1回 ・B2リーグ戦ホームゲーム観戦割引チケット販売等業務 5,396枚 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	588	5,754			
うち佐賀市の負担額	588	2,108			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ホームゲーム観戦者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
17,488	22,400 16,351	48,048	120,000	135,000		

成果指標②						単位
日常的に運動・スポーツを行う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	57 50	58	59	60		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染拡大等のため入場者数の制限や試合数の減少等の影響を受けた。



成果目標達成に向けた対応策等
選手、コーチによるスポーツ教室等を充実させ、市民が選手等と触れあう機会を増やすことでチームの認知度を高めたり、引き続きホームゲーム観戦チケット割引や市民招待等によりファン拡大を図り、試合観戦者を増やすとともに、スポーツ実施のきっかけを創出する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	プロスポーツ連携事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市と関連があるプロスポーツチームへの関心を喚起し、市民にスポーツの素晴らしさを伝え、スポーツ実施のきっかけづくり、SAGA 2024 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会への機運を醸成するとともに、中心市街地に人の流れを誘導して地域の賑わいを創出する。				
事業の対象者	市民等				
令和3年度主な活動実績	プロスポーツ選手のトークショー、3×3バスケットボール大会、エクストリームスポーツパフォーマンス・試乗体験、スポーツトレーナーによる走り方教室、国スポ・全障スポ競技体験等のイベントを実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,407	13,994			
うち佐賀市の負担額	16,406	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
2,000	5,000	5,000	5,000		2,500	

成果指標②						単位
日常的に運動・スポーツを行う市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
50.8	57	58	59		50	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染拡大等により、イベント開催に当たり、密を避ける必要があるなどの影響を受けた。



成果目標達成に向けた対応策等
イベント内容を充実させるとともに、市民が選手等と触れあう機会を増やすことでチームの認知度を高めて試合観戦者を増やすとともに、様々なスポーツを体験する機会を提供することで、実施のきっかけを創出する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ少年団育成事業	事業期間	昭和 60 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	生涯学習・情操教育・地域とのつながりを柱に、いろいろな種目の少年スポーツクラブが、スポーツ少年団に結集し、体力増進、リーダーの養成、交流、研修を行う。スポーツ少年団は日本最大の青少年団スポーツ団体で、小学生を中心に、中学生、高校生まで加入できる。市は佐賀市スポーツ少年団に対し補助を行うとともに、事務局として団の運営を支援し、少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の健全な育成に資する。				
事業の対象者	市内に居住する児童、生徒(小学生・中学生)				
令和3年度 主な活動実績	佐賀市スポーツ少年団大会（7月、10月、11月） 佐賀市親子SHIPS交流大会（12月） 佐賀市長杯ミニバスケットボール大会（12月） 指導者・保護者研修会（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,328	2,673			
うち佐賀市の負担額	2,328	2,673			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
加盟団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
45	46 43	47	48	49		

成果指標②						単位
加盟団員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
665	700 726	730	760	800		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響で、大会中止が見込めたことにより加盟しなかった単位団があったため加盟団体数は減少しているが、団員が多い単位団が新たに登録したため加盟団員数は増加している。



成果目標達成に向けた対応策等
スポーツ少年団の活動を充実させ、登録団加入促進のための交流大会等や各種目で体験会を実施し、登録団体の増加を図る。また、大会結果やクラブの紹介等の情報発信をすることにより、スポーツ少年団の知名度を上げる。さらに、若年指導者の育成にも努めたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツきっかけづくり推進事業	事業期間	昭和 60 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	生涯スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	年齢や性別、体力、障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの特長を生かし、地域スポーツの普及、推進の手段の一つとして、ニュースポーツ用具の整備、貸し出しなどを行うとともに、佐賀市スポーツ推進委員と連携を取りながら、佐賀市まなざしスポーツレクリエーション祭や、各地区での出前講座などを行い、ニュースポーツの指導、普及に努める。				
事業の対象者	市民全般				
令和3年度 主な活動実績	出前講座 ニュースポーツ用具の整備、貸出 市まなざしスポーツ・レクリエーション祭（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	482	287			
うち佐賀市の負担額	482	287			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
出前講座参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
471	500 286	600	700	800		

成果指標②						単位
まなざしスポ・レク祭参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
254	265 -	280	290	300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	出前講座の開催回数は前年度より多かったが、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者数を減らした講座が多かった。佐賀市まなざしスポーツレクリエーションは新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。

成果目標達成に向けた対応策等

出前講座については、地域のスポーツ推進委員と連携し、学校やPTA、老人会、子ども会などの団体に対して、効果的な広報を行うことで開催回数、参加者数の増加を図っていく。市まなざしスポ・レク祭についてはニュースポーツを知らない市民も気軽に参加できるように広報を強化したり、他のイベントと連携することで、参加者数の増加を図る必要がある。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ推進委員協議会活動推進事業	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	生涯スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市が計画する各種大会等への協力、地域でのニュースポーツの普及などの活動を行っている。また、スポーツ推進委員相互の資質向上を図るため、総務委員会、研修委員会、事業委員会の各専門委員会を定期的に開催し、協議・研修を行っている。さらに、佐賀市の委託でまなざしスポーツレクリエーション祭を開催し、市民スポーツ、レクリエーションを普及する。				
事業の対象者	市民全般				
令和3年度主な活動実績	定例研修会、各専門委員会（総務、事業、研修）、理事会、研究大会等を開催。 地域イベント、他団体イベントでのニュースポーツ指導の実施。 市まなざしスポーツ・レクリエーション祭（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,070	3,253			
うち佐賀市の負担額	5,070	3,253			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各校区開催ニュースポーツ教室参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6,901	7,000 3,189	7,100	7,200	7,300		

成果指標②						単位
まなざしスポーツレクリエーション祭参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
254	265 -	280	290	300		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響でニュースポーツ教室を開催できた校区が少なかった。佐賀市まなざしスポーツレクリエーションは新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。



成果目標達成に向けた対応策等
スポーツ推進委員は、地域に根ざしたスポーツ推進に欠かせない存在となっているが、一方で地域によっては認知度が低く、活動が停滞しているところも見受けられる。健康づくりの面でもスポーツの実施は重要であり、スポーツ推進委員の活動に対する期待は大きく、今後も実技研修会等を通して、個々のレベルアップを図り、ニュースポーツの普及や地域スポーツの推進のための更なる活動が必要である。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	総合型地域スポーツクラブとは、地域住民が出し合う会費や寄附により自主的に運営するクラブのことである。多世代、多目的、多志向により活動していくことにより、スポーツの振興のみならず、地域の核としてコミュニティ形成を図る。市民への周知を進め、意識醸成をはかり、既存の総合型地域スポーツクラブに対しては、広報等で支援するとともに、新規クラブの設立に向け、2年間の設立支援補助を行う。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	佐賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会、九州ブロッククラブネットワークアクション2021へ出席し、県内各クラブ及び先進都市におけるクラブとの情報交換を行った。 市内総合型地域スポーツクラブを訪問し、クラブの現状等の聞き取りを行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	46	34			
うち佐賀市の負担額	46	34			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
総合型地域スポーツクラブ会員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,097	1,120 1,190	1,150	1,180	1,200		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新設のクラブはなかったが、各クラブの会員募集の啓発活動が会員数の増加につながっている。



成果目標達成に向けた対応策等
第2期スポーツ基本計画では、総合型地域スポーツクラブの質的充実が求められている。総合型地域スポーツクラブの普及は、スポーツ人口増の解決策となり得るだけでなく、地域のつながりを強める上でも重要な施策である。県・地域機関と連携を深め、啓発活動に努める。また、27年度に設立した「佐賀市総合型地域スポーツクラブ連絡会」を通じて、総合型クラブ間での情報交換や交流の機会を設け、各クラブの自立促進を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	さが桜マラソン大会開催事業	事業期間	平成 24 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	生涯スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	さが桜マラソンを開催することにより、多くの市民にスポーツをする（ランナー）、みる（応援）、ささえる（ボランティア）活動への参画を推進する。 ■主催 佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、神崎市、佐賀市 ■日時 3月第3または第4日曜日に開催				
事業の対象者	市民全般				
令和3年度主な活動実績	2022大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通常大会を中止し、代替大会として「さが桜マラソン2022オンライン」を実施した。 ○オンラインマラソンの運営 ○オンラインマラソンのサブイベントとして開催した「さが桜マラソン2022オンライン開催記念トークショー」の運営 ○ランニングに関する講習会の実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,259	10,610			
うち佐賀市の負担額	4,347	4,498			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
マラソン大会参加者数						人
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
2,943	10,000 2,218	10,000	10,000	10,000		

成果指標②						単位
ボランティアスタッフ数						人
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
-	3,000 -	3,100	3,100	3,100		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響でリアル大会が開催できず、2021大会に引き続きオンラインでの開催となった。2年連続でのオンライン大会となったため参加者数が減少している。

成果目標達成に向けた対応策等

成果指標①（マラソン大会参加者数）・・・ランナーにとって安心安全な会場の環境づくり及び沿道応援や佐賀の特産物のふるまいなどのおもてなしの充実を図る。
 成果指標②（ボランティアスタッフ数）・・・大会に向け、コース沿線住民や市内の事業所など佐賀市民の機運醸成を図る情報発信を行い、楽しみながら、活動ができる環境づくりを実施する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種スポーツ大会開催補助事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	スポーツの競技大会は参加する競技者にとって日ごろの練習の成果を発揮する場であると同時に、市民にとってはアスリートの姿を目にすることができる絶好の機会になり、競技力向上や競技人口の増加にもつながる。生涯スポーツ、競技スポーツどちらにおいても推進を図っていくために必要な支援でスポーツ大会開催団体へ補助金を交付し、大会の円滑な運営を図る。補助を通してより充実した大会が開催されることによりスポーツへの参加を促し、周知啓				
事業の対象者	市民全般				
令和3年度 主な活動実績	県内一周駅伝大会 【中止】 富士しゃくなげ湖ハーフマラソン大会、北部連合尚武会演武大会、思斉館柔剣道大会、三瀬旗少年剣道大会、ムツゴロウ杯卓球バレー交流大会、むつごろうCUP車椅子バスケットボール大会				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	100	100			
うち佐賀市の負担額	100	100			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会参加人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
143	2,600 143	2,650	2,700	2,750		

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	52 50	55	58	60		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となる大会があり、コロナにより外出する機会が少なくなったことにより、日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合も減少している。

成果目標達成に向けた対応策等

大会を支えるスポーツ指導者や地域スポーツ団体、また、選手やボランティアの参加促進を図り、一般市民のスポーツ（「する」、「さえる」）に対する関心を高める。また、補助金の交付対象等の基準について整理し検討していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	公益財団法人佐賀市体育協会との連携事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	公益財団法人佐賀市体育協会（佐賀市体協）は、校区体協の育成、種目競技団体の育成、選手の強化、大会の開催等の事業を通じ、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、市民の健全な心身の発達に取り組む団体である。体協に補助金を交付することにより、体協と連携して佐賀市の社会体育の健全な普及・発展を推進する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	各種大会やスポーツ教室等の開催、市主催スポーツイベントへの協力等により、佐賀市のスポーツ振興、並びに普及活動を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	32,985	31,655			
うち佐賀市の負担額	32,985	31,655			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市体育協会主催事業等参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,063	6,500 5,465	6,700	6,900	7,000		

成果指標②						単位
日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
50.8	52 50	55	58	60		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる事業もあったが、開催した事業では多くの方が参加されている。コロナにより外出する機会が少なくなったことにより、日常的に（週に1回以上）スポーツをしている市民の割合も減少している。

成果目標達成に向けた対応策等

公益法人として公益目的事業の推進が必要であり、今後スポーツ大会のほか、スポーツが苦手な人や初心者が参加しやすいスポーツ教室の拡充等事業展開にくわえ、少年スポーツにおける指導者向けの研修会の開催を連携しながら行ってきたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民体育大会開催事業	事業期間	昭和 40 ～ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>■概要 市民スポーツの祭典として、市内各会場において競技を行い、小学校区及び地区対抗で得点を競う。競技によっては県民体育大会の予選を兼ねている。得点競技19競技、オープン競技8競技により開催している。</p> <p>■目的 市民のスポーツに参加する意欲と関心を盛り上げ、スポーツが生活の中に密着し、健康で明るい郷土づくりに寄与するため、市民スポーツの祭典として開催する。</p>				
事業の対象者	佐賀市民				
令和3年度 主な活動実績	令和3年度第74回佐賀市民体育大会は、得点競技18競技（バスケットボール中止）、オープン競技7競技（剣道女子中止）を無観客で開催した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	47	2,813			
うち佐賀市の負担額	47	2,813			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市民体育大会参加チーム数						チーム
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	480 339	500	500	500		

成果指標②						単位
市民体育大会参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	6,000 4,374	6,200	6,200	6,200		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった競技もあり、参加チーム数及び参加者数が減少している。



成果目標達成に向けた対応策等
競技人口の減少、あるいは参加校区が少ない競技種目については、競技団体や校区体協に対しスポーツ体験教室や校区内での大会開催を働きかけて底辺の拡大を図る。また、他の行事と重ならないような日程調整を行い、競技実施者への周知を徹底することで参加人数、参加校区の増加を図る。参加者及び競技団体より、実施の要望がある競技については、随時検討していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	校区対抗駅伝大会開催事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市と（公財）佐賀市体育協会が共催し、佐賀市陸上競技協会に競技運営を委託しており、各地区体協へ参加チームを募り、大会を開催する。駅伝競技に親しむことにより健康と体力の維持・増進を図る。また、開催の情報を広報し、観戦することにより市民のスポーツに対する関心を高める。佐賀市干潟よか公園周辺にて6区間23.3kmで開催する。				
事業の対象者	佐賀市民				
令和3年度主な活動実績	平成29年度は、平成30年1月28日に開催 平成30年度は、平成31年1月27日に開催 令和元年度は、令和 2年1月19日に開催 令和2年度は、中止 令和3年度は、中止				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62	30			
うち佐賀市の負担額	62	30			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会参加校区						区
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
-	29	29	29	29		
	-					

成果指標②						単位
参加者数						人
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
-	300	300	300	300		
	-					

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で大会を中止した。



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市内の校区体協区域別の大会であるが、すべての校区体協からの参加に至っておらず、全校区参加での開催が課題に挙げられる。今後、参加していない校区への参加の呼びかけを積極的に行う。また、人口の少ない校区については、他校区との合同参加を検討してもらうことで、参加者数の増加を図る。また、観戦に対して積極的に広報することで大会の認知度を上げ市民のスポーツに対する関心を高める。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	県民スポーツ大会関連負担金	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	競技スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>県民スポーツ大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、大会についての情報を提供し、大会を見ることにより市民のスポーツに対する関心を高める。</p> <p>県民スポーツ大会は、県民の間にスポーツを普及振興し、スポーツ精神の高揚を図り、明るく豊かな県民生活の進展に寄与することを目的とし、毎年10月第3土曜、日曜日に20競技33種別で開催される。開催地は、県内を4ブロックに分け、持ち回りで開催。佐賀市は、多久市、小城市と同ブロック。</p>				
事業の対象者	大会参加選手、役員				
根拠法令等	県民スポーツ大会総則				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	436	42			
うち佐賀市の負担額	436	42			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
佐賀市出場競技数					競技
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
12	-				
活動実績②					単位
佐賀市出場選手数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
320	-				

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会が中止となった。
市民のスポーツへの関心を喚起させるため、大会開催の周知や佐賀市選手の結果報告をホームページなどに掲示し、情報発信を積極的に行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ合宿推進事業	事業期間	平成 26 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内でスポーツ合宿を行うアマチュア団体に延べ宿泊数に応じて補助金を交付し、スポーツ合宿による交流人口の増加を図る。佐賀市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会において、国内外のトップレベルチームの合宿・キャンプの誘致、受入れ、市民との交流の機会創出に取り組み、トップレベル選手のトレーニングの様子を見たり、選手等との交流をきっかけにして日常的にスポーツを行う市民を増やす。				
事業の対象者	市外の中中学生以上のアマチュアスポーツ団体、プロ、国内・海外代表スポーツチーム等、選手等と交流する市民				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿補助金の交付 3 団体 ・東京2020大会事前キャンプの受入れ 3 団体 ・東京2020大会事前キャンプ実施国との交流事業の実施 4 事業 ・東京2020大会事前キャンプ実施国の文化理解講座の実施 5 回（4 校） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,459	2,329			
うち佐賀市の負担額	5,459	2,329			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
スポーツ合宿実施団体						団体
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
3	7	8	9	10	6	

成果指標②						単位
日常的に運動・スポーツを行っている市民の割合						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
50.8	57	58	59	60	50	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大の影響や嘉瀬川ダム貯水率の低下により、実業団ボート部等の合宿誘致が難しかった。



成果目標達成に向けた対応策等
本市での合宿実施の様子や5月に開場した富士しゃくなげ湖水上競技場をSNS等で積極的に紹介し、合宿適地としての認知度を高めることで合宿実施団体の増加を図る。 プロチーム、実業団の合宿、キャンプ時のスポーツ教室や指導者講習の充実に加え、HP、SNSほかの媒体を活用して練習見学を促し、市民の運動・スポーツ実施意欲を高める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツ指導者育成事業	事業期間	平成 18 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	競技スポーツの推進		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ジュニア期は生涯を通じてスポーツと関わる習慣を身につける重要な準備期であることから、勝利至上主義を見直し、少年スポーツのあり方や適正な指導方法を指導者、保護者に啓発する必要がある。 少年スポーツ指導者や保護者に対して、ジュニア期におけるスポーツのあり方等についての講演会や研修会を開催し、指導に関する最新の情報を入手し、少年スポーツ指導における正しい指導法確立を支援する。				
事業の対象者	少年スポーツ指導者・保護者、体協加盟団体				
令和3年度 主な活動実績	少年スポーツ指導者・保護者及び校区体協、競技団体等に対して、少年スポーツ研修会を開催した。 所定の資格を取得しようとする少年スポーツ指導者に対し、資格取得にかかる経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	808	111			
うち佐賀市の負担額	808	111			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
研修会参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54	70 22	80	90	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	年間3回の研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、1回しか開催できなかったため参加者数が減少した。



成果目標達成に向けた対応策等
平成27年度に策定した「少年スポーツのあり方についての取組方針」について、スポーツ指導者及び保護者に対し周知を図り、市が作成した指導者教本を用いて適正な指導を行っていく。また、公的な指導者資格の取得についての啓発を行っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	各種大会出場助成事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	小中学生及び高校生にとってスポーツの競技大会への出場は、日ごろの練習の成果を発揮する場であり、九州及び全国規模の大会に出場することは競技力の向上にもつながる。激励金、補助金を交付することにより、競技スポーツの推進を図る。				
事業の対象者	市内小中学生及び高校生				
令和3年度主な活動実績	九州大会以上の大会に出場する小中学生及びスポーツ競技の全国高等学校大会に出場する高校に対し、激励金、補助金を交付する。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,049	2,469			
うち佐賀市の負担額	1,049	2,469			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助金交付件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	5 3	7	9	10		

成果指標②						単位
激励金交付人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
130	500 333	520	540	560		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった大会もあり、激励金の交付者数が減少している。



成果目標達成に向けた対応策等
より多くの小中学生及び高校生が大会へ出場できるよう、競技人口の少ない競技など広く支援していく。また、激励金や補助金の制度を広く周知する。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック選手応援・支援事業	事業期間	令和2～令和3年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツ係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	競技スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東京オリンピック・パラリンピックに出場する市内在住または市出身の選手に激励金を交付する。 出場決定を祝した懸垂幕の掲示や選手への応援メッセージを作成する。 出場選手を応援することで、市民のスポーツへの関心を高める。				
事業の対象者	市民、市在住または市出身の選手				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	-	533			
うち佐賀市の負担額	-	533			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
激励金交付者数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
-	4				

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

東京2020オリンピック・パラリンピックに出場した佐賀市出身及び佐賀市在住の選手に対し、その活躍と健闘を期待し、激励の意を表すため激励金を交付した。また、出場決定を祝した懸垂幕を本庁舎に掲示し、選手の出身中学校や大型施設に設置した日本国旗に選手への応援メッセージを書くことで、市民一体となって応援する機運醸成に取り組んだ。

令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー運営事業	事業期間	令和元～令和3年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・スポーツコンベンション係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	生涯スポーツの推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東京2020オリンピック開催への機運を高めるため、本市での安全・安心な聖火リレーの実施を図る。 <佐賀市の対応> ・運営ボランティアの手配 ・交通規制等の予告・周知 ・警備用資器材の手配・配置 ・ミニセレブレーションの開催				
事業の対象者	市民、市在住または本市に通勤、通学する18歳以上の人				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	1,767	6,121			
うち佐賀市の負担額	1,767	6,121			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
ボランティア応募者数					人
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
478	485				

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

東京オリンピック・パラリンピックの開催により、聖火リレーを2021年5月10日に実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、HP、SNSでインターネットライブ中継での観覧を呼びかける等の観覧者の密集回避等対策を講じ、ミニセレブレーションの規模も縮小を余儀なくされたことにより、ボランティア応募者数についても大きく伸びなかった。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市民運動広場運営事業	事業期間	平成 1 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)19,548m ² 野球1面、ソフトボール1面、サッカー1面、夜間照明(開館時間)日の出から午後9時まで。				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成28年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、グラウンド整備等、施設の適正な管理・運営を図っている。平成28年度から令和2年度の更新を経て、令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,100	1,208			
うち佐賀市の負担額	1,100	1,208			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27,116	30,000 27,470	31,500	32,000	32,500		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
29	50 39	70	75	80		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で利用者数は目標値を達成することができなかったが、大会等が開催されるようになり稼働率は前年度から回復することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍の影響で利用者数が減少したままだが、引き続きコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市立体育館・テニスコート運営事業	事業期間	平成 8 ～ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(競技場)1,221m ² バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、卓球台14台 トレーニング室、ミーティング室、テニスコート砂入り人工芝8面、夜間照明（午前9時から午後9時30分）				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会（当初からの継続）。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,637	15,543			
うち佐賀市の負担額	16,637	15,543			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100,781	110,000 101,175	120,000	125,000	123,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
74	80 75	85	87	90	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で利用者数は目標値を達成することができなかったが、大会等が開催されるようになり稼働率は前年度から回復することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍の影響で利用者数が減少したままだが、引き続きコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市立野球場・弓道場管理運営事業	事業期間	平成 8 ～ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】野球場(面積)12,613m ² (観客席)内野2,400人(開館時間)午前9時～季節により変動 弓道場(近的)28m、10人立(遠的)60m、6人立(開館時間)午前9時～21時30分				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,124	18,535			
うち佐賀市の負担額	17,124	18,535			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
18,931	19,000 22,182	19,500	20,000	20,500	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37	45 45	50	52	55	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	屋外競技、個人競技のためかコロナ禍にもかかわらず、利用者数の目標値を大幅に達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
安心・安全な利用ができるようにコロナウイルス感染症拡大防止対策を今後も徹底し、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	嘉瀬川河川敷グラウンドの管理運営	事業期間	昭和 53 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)52,890m ² 野球4面、(開館時間)日の出から日没まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	グラウンドの整地や清掃等の維持管理に関しては競技団体に業務委託。 市民相談コーナーにて、施設の利用申請の受付を行った。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来客者への利用自粛要請を行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,434	1,288			
うち佐賀市の負担額	1,434	1,288			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
869	1,500 1,568	2,000	2,100	2,200		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
29	30 40	31	32	33		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	屋外競技のためかコロナ禍にもかかわらず、利用者数の目標値を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
令和3年度は大会等の開催もあり、コロナ禍でのニーズに合致した環境であることも増加の理由となっている。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀勤労者体育センター運営事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(アリーナ)1,085m2 バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン8面、卓球台14台(2階)140m2、(開館)午前9時～午後9時30分				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	18,816	15,146			
うち佐賀市の負担額	13,725	13,582			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
44,095	48,000 46,477	52,000	54,000	56,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
80	85 85	88	90	92	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で利用者数は目標値を達成することができなかったが、大会等が開催されるようになり稼働率は目標値を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍の影響で利用者数が減少したままだが、引き続きコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	学校体育施設開放事業	事業期間	昭和 62 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	学校教育に支障がない範囲で体育館などの学校体育施設を有効利用し、子どもの安全な遊び場及び地域住民の身近なスポーツ活動の場として活用している。				
事業の対象者	佐賀市民、市内在勤者、市内在学者				
令和3年度 主な活動実績	平成23年10月から使用料を無料（夜間照明を除く）に統一し、平成24年度からは学校体育施設開放運営委員会による管理運営を実施している。（現在52校）旧市内10小学校及び川副中学校テニスコートには夜間照明施設を設置している。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用者への利用自粛要請、三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,331	5,022			
うち佐賀市の負担額	5,331	5,022			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
642,529	658,600 576,942	691,500	708,800	726,500	

成果指標②					単位
利用件数					件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
37,224	38,100 34,829	40,000	41,000	42,000	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	若年層でのコロナの感染拡大もあり、学校施設という特性上利用を控えていたと思われる。



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・各学校体育施設における社会体育用品等の充実を図り、身近なスポーツ施設としてのより一層の活用を図る。 ・スポーツ施設との相互利用をさらに促進させるため、管理運営方法の見直しを行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	西神野運動広場運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)10,200m ² 少年野球1面、ソフトボール1面、(開館時間)午前6時から午後7時まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成18年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来客者への利用自粛要請を行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	465	627			
うち佐賀市の負担額	465	627			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
12,722	16,000 11,732	18,000	18,500	19,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
31	33 38	35	38	40	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和3年度もコロナの影響により利用者数が前年度よりも下回っている。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	春日運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動場)12,388m ² 野球2面、ソフトボール2面 (テニスコート)クレーコート4面、(開館時間)日の出から日没まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成29年度から指定管理者制度を導入し、施設の適正な管理・運営を図っている。平成29年度から令和3年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、来客者への利用自粛要請を行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,253	1,253			
うち佐賀市の負担額	1,253	1,253			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
21,326	27,000 18,053	30,000	32,000	34,000		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
25	28 25	30	32	34		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和3年度もコロナの影響により利用者数が前年度よりも下回っている。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数減が進んでいるため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	富士運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動広場)8,500m ² 野球・ソフトボール1面、夜間照明施設(屋内練習場)350m ² 、(相撲場)440m ² 、(開館時間)運動広場:日の出から午後10時、屋内運動場:午前8時から翌日午前8時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	グラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は富士支所に対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,476	1,039			
うち佐賀市の負担額	4,476	1,039			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
6,607	6,800 5,925	7,000	7,200	7,400		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
13	14 24	15	16	17		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で、利用者数は減少したままだが、福岡県からの施設の利用が増え稼働率は目標値を超えている。



成果目標達成に向けた対応策等
稼働率が2割を超えたが、まだまだ施設の利用自体を促す必要性がある。今ある設備や周辺環境を分析し、施設の認知度を上げる方策を検討する。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬グラウンド管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(面積)9,650m2 野球1面、ソフトボール2面、夜間照明(開館時間)日の出から午後10時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	三瀬グラウンドのグラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は三瀬支所に対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,814	1,387			
うち佐賀市の負担額	1,814	1,387			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
4,767	8,000 4,952	10,000	10,500	11,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
17	18 23	19	20	21	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で、利用者数は減少したままだが、福岡県からの施設の利用が増え稼働率は目標値を超えている。



成果目標達成に向けた対応策等
稼働率が2割を超えたが、まだまだ施設の利用自体を促す必要性がある。今ある設備や周辺環境を分析し、施設の認知度を上げる方策を検討する。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬勤労福祉センター管理運営事業	事業期間	平成 17 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実		
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(競技場)787m ² バレーボール2面、バドミントン3面、剣道4面、卓球台5台(開館時間)午前9時から午後10時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	体育館の床・窓の清掃、トイレ清掃、消防設備点検は業務委託を行った。また、利用申請受付・使用料徴収等は三瀬支所で対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,613	1,625			
うち佐賀市の負担額	1,613	1,625			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,314	5,000 3,632	5,500	5,600	5,700		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
18	22 34	24	25	26		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で、利用者数は目標値を下回っているが、福岡県からの施設の利用が増え稼働率は目標値を超えている。



成果目標達成に向けた対応策等
稼働率が3割を超えたが、まだまだ施設の利用自体を促す必要性がある。今ある設備や周辺環境を分析し、施設の認知度を上げる方策を検討する。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬プール管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】25m×5コース(内1コース徒歩用)、シャワー室、更衣室、交流室25m2 (開館時間)午前10時から午後4時※7月下旬～8月末のみ開館				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	水質検査、設備点検は業務委託を行った。また、利用受付・使用料徴収等は会計年度任用職員で対応し、施設の適正な管理・運営を図っている。※令和2年度はコロナウイルス感染症のため、開設中止した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	304	560			
うち佐賀市の負担額	304	560			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,800 1,373	1,900	2,000	2,100		

成果指標②						単位
使用料収入						円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	2,000 0	2,500	3,000	3,500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和3年度は学校プールは再開したが、一般利用の開放はコロナの影響で実施していないため、利用者数、使用料収入は目標を達成することができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
開館に向けて、コロナウイルス拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行う。利用期間が夏休み期間の日中のみとなっているため、利用者のほとんどを地域の児童で占められているが、施設の認知度を上げ、利用促進の方策を検討する。また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀運動公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(運動広場)15,280m ² 野球・ソフトボール1面、夜間照明、テニスコート砂入り人工芝2面・クレー2面、夜間照明、スポーツルーム(開館時間)日の出から午後9時30分(屋内は午前8時30分から午後10時)				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成28年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、グラウンド整備等、施設の適正な管理・運営を図っている。平成28年度から令和2年度の更新を経て、令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,828	7,295			
うち佐賀市の負担額	7,828	7,295			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30,992	31,000 31,782	32,000	33,000	34,000		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
19	20 27	21	22	23		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	屋外競技が主となるため、コロナ禍にもかかわらず稼働率の目標を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
稼働率が2割を超えたが、まだまだ施設の利用自体を促す必要性がある。今ある設備や周辺環境を分析し、施設の認知度を上げる方策を検討する。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保田グラウンド・補助グラウンド管理運営事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】(グラウンド) 10,135m ² 、野球・ソフトボール1面、夜間照明 (開館時間)日の出から午後10時(12月から3月の間は日没)まで				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	令和2年度は改修工事で年間を通じて利用は停止していた。(年度初めに数日の利用があったのみ) ※通常は、グラウンド整備やトイレ清掃は業務委託を行い、利用申請受付・使用料徴収等は久保田支所に対応し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整など、施設の適正な管理・運営を図っている。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,681	4,007			
うち佐賀市の負担額	4,681	4,007			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
1,100	15,000 9,913	16,000	17,000	18,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
2	25 31	30	32	34	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	屋外競技が主となるため、コロナ禍にもかかわらず稼働率の目標を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
令和3年度から2つあったグラウンドを1つに集約して運用しているが、稼働率は当初の目標を達成することができた。引き続き利用状況を検証しながら、目標を設定していきたい。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	諸富文化体育館・諸富公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】アリーナ、トレーニング室、多目的室、(観客席)固定294席、移動1,000席、(開館時間)午前9時～午後10時/多目的広場、テニスコート、夜間照明(開館時間)日の出から日没(夏季のみ午後9時まで)
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者
令和3年度 主な活動実績	平成19年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。

決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	36,254	38,694			
うち佐賀市の負担額	35,192	38,694			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60,293	85,000 73,660	90,000	95,000	100,000		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
35	38 45	40	41	42		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で利用者数は目標値を達成することができなかったが、大会等が開催されるようになり稼働率は目標値を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等

コロナ禍の影響で利用者数が減少したままだが、引き続きコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。
また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	大和勤労者体育センター・大和中央公園体育施設管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】アリーナ、卓球場、グラウンド、夜間照明、テニスコートハード2面・クレー2面 (開館時間)午前9時(屋外は日の出)～午後9時30分				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成19年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和3～7年度までの指定管理者は(公財)佐賀市体育協会(当初からの継続)。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,023	15,025			
うち佐賀市の負担額	17,802	14,527			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
利用者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
52,269	70,000 61,943	75,000	76,000	77,000	

成果指標②					単位
稼働率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
31	35 35	40	41	42	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で利用者数は目標値を達成することができなかったが、大会等が開催されるようになり稼働率は目標値を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数が減少したままだが、引き続きコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	スポーツパーク川副・川副運動広場管理運営事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。 【施設概要】多目的広場、夜間照明、体育センター、トレーニングルーム、バラエティールーム、剣道場、柔道場、弓道場、近的射場3人立、川副運動広場(開館時間)9時から22時				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度 主な活動実績	平成22年度から指定管理者制度を導入し、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、施設の適正な管理・運営を図っている。令和2年～令和6年度までの指定管理者は非営利特定法人かわそえスポーツクラブ（当初からの継続）。 コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、啓発ポスターの掲示、手指消毒液の設置、来客者への利用自粛要請あるいは三密回避の声掛けを行うなど、安心安全な利用ができるよう対応を行った。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	31,036	31,526			
うち佐賀市の負担額	31,036	31,526			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
85,571	95,000 90,280	100,000	105,000	106,000		

成果指標②						単位
稼働率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
37	38 48	39	40	41		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	コロナの影響で利用者数は目標値を達成することができなかったが、大会等が開催されるようになり稼働率は目標値を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍の影響で利用者数が減少したままだが、引き続きコロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。 また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市健康運動センター管理運営事業	事業期間	平成 16 ~	年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之	
総合計画における位置づけ	政策	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち		
	施策	17健康づくりの推進と保健・医療の連携		
	基本事業	自主的な健康づくりの支援		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	運動を中心とした活動や交流を通し、心身の健全な発展に寄与すると共に、生活習慣病予防のための運動習慣の獲得、継続を目的とした施設。幼児期から高齢者、障害者を対象とした様々な健康づくり事業を展開している。 【施設の概要】屋内施設(25mプール、トレーニングルーム、スタジオ、入浴施設、多目的室など) 屋外施設(多目的グラウンド、ウォーキングコース、サッカー・ラグビー場など)				
事業の対象者	佐賀市民、隣県・市外からの施設利用希望者				
令和3年度主な活動実績	設立当初から指定管理者制度を導入し、平成30年～令和5年度までの指定管理者はサガン・ドリームス/健康科学研究所/古賀商事 グループ（当初からの継続）。 健康推進員育成講座、食生活改善推進員養成講座、知的障がい児親子運動教室、子ども体操教室、親子ふれあいサッカー教室等 コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、安心安全な利用ができるよう対応した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	183,052	191,072			
うち佐賀市の負担額	180,845	187,577			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
205,895	260,000 186,391	270,000	275,000	280,000		

成果指標②						単位
稼働率（屋外施設のみ）						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
35	40 40	41	42	43		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	利用者数の減少については、令和3年度の大雨被害によりプールの営業ができなくなったためであるが、その他の施設は大会等の開催指定管理者の営業努力により稼働率を上げる事ができた。



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の影響で利用者数が大きく減少しているため、コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全な利用ができる運営を行うことで利用を促進して、利用者数をコロナ前の水準に戻すことを当面の目標とする。</p> <p>また、国スポ2024開催の機運とも連動して、スポーツの機会を幅広く市民に広報し提供していくことで、一層の利用者増を図る。</p>

令和4年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設整備事業	事業期間	平成 30 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	スポーツ振興課・管理係	担当課長名	江川 雅之
総合計画に おける位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	27誰もが親しめる市民スポーツの充実	
	基本事業	スポーツ施設の整備と活用	

1 公共事業の基本情報

整備概要	管理棟、艇庫、ボート・カヌーコース及びコース付帯施設の整備を行う。 ※整備場所＝富士町大字畑瀬				
整備の目的	富士しゃくなげ湖を有効活用し、ボート・カヌー競技施設整備を行うことにより、第78回国スポ大会等の円滑な開催に資するとともに、スポーツの発展及び地域活性化を図る。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	年度
工事請負費			176,799	280,679	
測量・監理等委託料	11,331	31,026	12,006	2,497	
用地購入費		8,623	64		
補償費		1,649	68		
その他事務費等	280		11,942	2,873	
計	11,611	41,298	200,879	286,049	0
うち佐賀市の負担	11	98	79	49	
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					457,478
測量・監理等委託料					56,860
用地購入費					8,687
補償費					1,717
その他事務費等					15,095
計	0	0	0	0	539,837
うち佐賀市の負担					237

2 事業の進捗率

H30	目標 実績	R1	目標 実績	R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	6.0%	40.0%	54.0%	100.0%	100.0%							
	1.0%	6.0%	31.0%	66.5%								

